

『すべての物は神より出で、神によりて成り、神に帰すればなり。栄光永遠に神にあれ、アメン』 ロマ書 11 章 36 節

美濃ミッション 1918年創立

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町 10 番 4 号

TEL. 059-365-0096 FAX. 059-365-9399 <http://www.cty-net.ne.jp/~mmi/>

2017 年12月 恵日

主イエス・キリスト様にありて、

救い主の御降誕を心よりお祝いし、来たる新年の祝福をお祈りいたします。

いつも小さな私たちの働きと家族のために、お祈りとご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。本年も多くの皆様のお祈りに支えられて、美濃ミッションと諸教会の働きが継続できましたことを、感謝しています。至らぬ者ながら、私が全教会を兼牧するという形で、愛する同労者・教会員の兄弟・姉妹方のご協力をいただき、補い合って続けております。

私たちの小さな群れ美濃ミッションは、来年には創立100周年を迎えます。9月には、戦前の迫害記録小冊子『何を予期すべきか』の第三版を印刷発行いたしました。また二年越しになりましたが、『美濃ミッションの宣教師物語』を出版する準備をしています。

本年の一大プロジェクトでありました大垣聖書教会の補修工事も無事に完了でき、主の祝福と御守りを感謝しています。

また4月にはライフ・イン・メサイヤ・インターナショナルのウェスレイ・テーパー先生を迎えてのバイブル・カンファレンス、7月には、巡回伝道師の藤正信先生夫妻を迎えて、特別集会を開くことができて感謝でした。また私は、9月の東海宣教会議VIと、11月には和歌山で開催された東アジア・ユダヤ人伝道カンファレンスにも参加することができて、内外の多くの兄弟と主の御恵みを分かち合うことができて感謝でした。

美濃ミッションの機関誌、伝道新聞「聖書の光」を、例年通り三回発行することができて感謝でした。今後とも主にある兄弟姉妹方の励ましのため、また救いを必要としておられる方々の一助となりますことを祈りつつ、福音文書の発行と配布を継続してまいります。

ますます高齢化が進み、人員・資金減少などの諸問題を抱えて連日苦闘していますが、主を見上げつつ、先達から受け継いだ信仰のミッションとして、伝道、証しに励みたいと願っていますので、今後とも変わらぬ御祈援を、どうぞよろしくお願いいたします。

以上簡単ではございますが、この一年をまとめて、お祈りの御礼と、ご報告とさせていただきます。皆様の上に、主イエス様の祝福が豊かに加えられますよう、お祈りいたします。

栄光在主、

美濃ミッション代表 石黒イサク